

## 平成21年度 主たる環境保全事業の進捗状況一覧

1 安全で健康に暮らせるまち ……空気や水、土などが汚染されず、安全で健康かつ快適に過ごしていけるまちを目指します。

(1) さわやかな空気と静けさを確保する 自動車走行に伴う大気汚染や騒音・振動に関する対策を継続的に進めるとともに、一般家庭での野焼きの低減や事業所等からの大気汚染や騒音・振動の防止などにより、さわやかな空気と静かな暮らしの確保に努めます。

環境基本計画の施策の柱(基本目標)		1 安全で健康に暮らせるまち		総括:騒音測定については継続して数値の監視をしていきます。パークアンドライド促進の観点から、市営駐車場の利用促進を図っています。大気汚染物質の排出を抑制するため、循環バスの運行やアイドリングストップなどの啓発活動をしています。				平成21年度 総括	担当課
環境基本計画の施策内容(基本方針)		(1) さわやかな空気と静けさを確保する		状況(市民に対する効果)					
連番	環境基本計画の施策の内容	施策の効果を測る指標	単位	H19	H20	H21	H21目標		
				1	一般地域の測定地点による定期的な観測により、環境基準の類型ごとに達成率を算出し、監視します。	騒音環境基準達成率	%	昼間90.9 夜間90.9	昼間90.9 夜間90.9
		騒音測定地点数	地点	11	11	11	11		
2	道路に面する地域の測定地点による定期的な観測により、騒音評価空間マップを用いて、個々の住宅全ての騒音推定値により達成率を算出し、監視します。	騒音環境基準達成率	%	昼夜基準達成85.7%(12/14) 昼基準達成100%(7/7) 夜基準達成71.4%(5/7) 昼夜とも基準超過0(0/7)	昼夜基準達成85.7%(12/14) 昼基準達成100%(7/7) 夜基準達成71.4%(5/7) 昼夜とも基準超過0(0/7)	昼夜基準達成92.9%(13/14) 昼基準達成100%(7/7) 夜基準達成85.7%(6/7) 昼夜とも基準超過0(0/7)	7		
		騒音測定地点数	地点	7	7	7	7		
3	新幹線鉄道の測定地点による定期的な観測により、環境基準の達成について監視します。	環境基準達成率	%	4定点75%基準達成	4定点75%基準達成	4定点75%基準達成	-		
		調査測定地点数	地点	2 (県調査分2)	2 (県調査分2)	2 (県調査分2)	2		
4	アイドリング・ストップ運動を推進します。	アイドリングストップチラシの配布回数・広報への掲載	回	チラシ0 広報1 掲示板0	チラシ0 広報1 掲示板0	広報・チラシ0 HP1 掲示板1	広報等による啓発	WEB21掲示版やホームページへの掲載により、啓発を実施しました。	生活環境課
5	パークアンドライドを促進します。	市営駐車場の利用台数	台	330,483	335,670	326,524	330,000	昨年に比べ駐車場利用者は減りましたが、パークアンドライドの促進に寄与していると思われます。	管理課

連番	環境基本計画の施策の内容	状況(市民に対する効果)						平成21年度 総括	担当課
		施策の効果を測る指標	単位	H21目標					
				H19	H20	H21	H21目標		
6	防音効果による良好な道路環境形成のために排水性舗装を推進します。	施工延長	m		503	400	延長	秋和踏入線 L=400mの工事を実施しました。	都市計画課
7	公共交通機関であるバスの利用促進を図り、自家用車の使用を軽減させます。	循環バス等の利用者数	人	64,308	63,581	56,323	64,000	循環バスについては、国の補助を受け、実証運行を継続実施中です。平成21年度は5回の乗降調査とヒアリング調査を実施して、運行の実態を把握しました。これにより今後、利便性を高めるための見直しを行う予定です。 オレンジバスについては、利便性を高めるためにルートの見直しを行い、上田地域に路線図・時刻表を全戸配布し、利用促進に努めました。また、車両を更新し、環境性能に優れた低排出ガス適合車としました。	地域交通政策課

(2) きれいな水と安全な土壌を確保する 河川や地下水、またそれらを取り巻く土壌の汚染を防止し、きれいな水と安全な土壌環境の確保に努めます。

環境基本計画の施策の柱(基本目標)		1 安全で健康に暮らせるまち	総括:公共下水道等の普及がされてきました。今後も普及率の向上を図ります。また、水質検査や河川パトロール等により、河川の環境保全に努めています。降雨等の気象条件により水質が変動しやすく、今後も監視を実施していきます。						
環境基本計画の施策内容(基本方針)		(2)きれいな水と安全な土壌を確保する							
連番	環境基本計画の施策の内容	状況(市民に対する効果)						平成21年度 総括	担当課
		施策の効果を測る指標	単位	H21目標					
				H19	H20	H21	H21目標		
8	公共下水道事業、農業集落排水事業等を推進するとともに、整備区域外については、合併処理浄化槽の設置を促進します。	公共下水道普及率	%	下水・農集計	下水・農集計		下水・農集計	水洗化促進に向け、啓発文書を693戸に発送しました。また、戸別訪問として1,063戸を訪問し、接続依頼及び留守宅には、促進チラシを配布しました。今年度新しい試みとして、水洗化促進標語を公募し、304作品の応募があり、9月10日下水道の日に、優秀作品7点の表彰及び懸垂幕を披露し、啓発事業を実施しました。	下水道課 生活環境課 サービス課 武石市民生活課
		農業集落排水普及率(上田)	%	94.8			94.9		
		合併処理浄化槽設置整備事業実施基数累計	基	1,397	1,407	1,414	1,416		
		水洗化率	%	79.9	82.0	84.0	83		
9	定期的な調査により、河川水質の環境基準の達成について監視します。	観測地点のBODの環境基準達成率	%	93.2 (260/279)	95.6 (241/252)	92.9 (234/252)	-	毎月市内17地点、また年2回35地点について、延べ252検体の水質検査を実施しました。月ごとの調査報告書を作成し、年度末にまとめて評価しています。	生活環境課 武石市民生活課
		調査測定回数・地点(H15~)	回数・地点	毎月1回 17地点	29河川、35 地点	29河川、35 地点	29河川、35 地点		
10	定期的な調査により、地下水質の環境基準の達成について監視します。	環境基準達成	%	92.3 (12/13)	92.3 (12/13)	83.3 (10/12)	-	地下水調査を市内12地点で実施しました。調査対象の井戸は降雨などの気象条件等で水質が変動しやすいため、今後も監視を実施していきます。なお、数値の監視は継続して実施していきますが、観測の実施(地点)を目標にしています。	生活環境課
		調査測定地点数	地点	13	13	12	10		

連番	環境基本計画の施策の内容	状況(市民に対する効果)						平成21年度 総括	担当課
		施策の効果を測る指標	単位	状況					
				H19	H20	H21	H21目標		
11	地下水質の低沸点有機化学物質の環境基準の達成について監視します。	低沸点有機塩素系化学物質の基準値達成率	%	100	100	100	-	市内12地点の地下水の塩素系有機化合物3物質(トリクロロエチレン・テトラクロロエチレン・1,1,1-トリクロロエタン)の調査を実施しました。なお、数値の監視は継続して実施していきますが、目標として設定するのに基準数値達成を掲げるのは難しいので、観測の実施(地点)を目標にしています。現在、井戸は消滅傾向にあり、地域的な選定が難しい状況です。	生活環境課
		調査測定地点数	地点	12	12	12	12		
12	漏洩事故による土壌、地下水への影響を説明し、環境に対する意識の啓発を図ります	許可施設漏油事故発生件数	件	13	10	25	0	危険物施設への立入検査の実施をし、施設の安全管理・漏洩事故防止について指導しました。今後も事故がないよう指導を徹底し、環境保全に努めていきます。	消防各課
13	水環境の保全のための啓発活動、保全活動を行います。	環境啓発(水道局広報発行)	回	4	4	4	啓発実施	局広報の発行や、油流出事故防止啓発ピラ配布などの住民環境啓発を実施しました。また、環境フェア・千曲川クリーンウォークに参加しました。	経営管理課
14	水資源の有効活用	漏水箇所及び推定漏水量	件	115	71	48		漏水調査業務及び集計は終了しました。今後調査区域の見直しと早期修理を行います。	上水道課
			t	102,300	144,811	207,533			
15	公共下水道・農業集落排水の整備区域外において、合併処理浄化槽の設置を促進します。	設置基数	基	4	2	2	4	設置は個人の資金事情によるため、計画通りに促進することは難しいが、引き続き促進を図っていきます。	丸子市民生活課
		設置基数累計	基	129	131	133	135		
16	水質の保全	下水道の早期接続	-	普及促進活動	普及促進活動	普及促進活動	普及促進活動	下水道への早期接続にむけて市民へ普及促進活動を行います。	丸子上下水道課

(3) 有害化学物質による汚染を未然に防止する

私たちの安全な暮らしを確保するために、有害化学物質による環境汚染の防止に努めます。

環境基本計画の施策の柱(基本目標)		1 安全で健康に暮らせるまち	総括:大気・河川・土壌等のダイオキシン類や特定化学物質等の定期的な調査・測定を行い、汚染状況の把握に努めています。また、その結果を広く公表していきます。						
環境基本計画の施策内容(基本方針)		③ 有害化学物質による汚染を未然に防止する							
連番	環境基本計画の施策の内容	状況(市民に対する効果)						平成21年度 総括	担当課
		施策の効果を測る指標	単位	状況					
				H19	H20	H21	H21目標		
17	大気・河川・土壌などにおいて、ダイオキシン類汚染状況を調査・測定し、その結果を公表するとともに、有害物質に関する情報を提供します。	基準値達成率	%	大気3定点 河川4定点 土壌3定点 すべて達成	大気4定点 河川4定点 土壌3定点 すべて達成	大気5定点 河川3定点 土壌4定点 すべて達成	大気5定点 河川3定点 土壌4定点	過去に実施したすべての調査地点で環境基準達成しています。 今後も引き続き実施し、汚染状況の確認を行います。	生活環境課
		調査測定地点数	地点	大気3 河川4 土壌3	大気4 河川4 土壌3	大気5 河川3 土壌4	大気5定点 河川3定点 土壌4定点		

2 自然・生き物・人が共生するまち ……市の環境を代表する里山や森林などの豊かな自然を保全し、ふれあいの場をもつことで、自然との共存を目指します。

(1) 森や里山を守り・親しむ

上田市の特徴でもある豊かな森林や里山を未来の世代に引き継いでいくため、これらに親しみ、触れ合う機会を創出し、多くの人が保全活動に参画していくことを目指します。

環境基本計画の施策の柱(基本目標)		2 自然・生き物・人が共生するまち	総括:森林整備・松くい虫被害防除等、保全活動に努めています。また、里山整備をしている団体の支援・協力をしています。天然記念物の保護等の活動を行っており成果が出ています。					平成21年度 総括	担当課
環境基本計画の施策内容(基本方針)		(1) 森や里山を守り・親しむ	状況(市民に対する効果)						
連番	環境基本計画の施策の内容	施策の効果を測る指標	単位	状況(市民に対する効果)					
				H19	H20	H21	H21目標		
18	森林の育成・保全	市有林及び私有林間伐	ha	30	62	270	168	森林健全化のため、森林税事業等を活用し、目標を上回る面積(市有林34ha、民有林236ha)を実施しましたが、一部の業務で年度内完了しない業務がありました。健全な森林育成・保全のため、引き続き間伐促進を行なうと共に、早期発注に努め、年度内完了を目指します。	森林整備課
19	松くい虫被害を防除し、健全な森林を育てます。	被害木の伐倒薬剤処理量 5,900㎡	㎡	5,651	7,964	8,206	5,780	適正な時期に調査及び発注を行い、当初の予定数量を上回ることができました。空中散布中止に伴う被害拡大防止のため、被害木の伐倒処理を更に強化します。	森林整備課
20	地域における保全活動への支援・協力を努めます。	里山整備をしている団体を支援・協力	里山づくり支援事業	6	6	5	通年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太郎山虚空蔵山縦走路トレッキング(1回)</li> <li>・太郎山虚空蔵山縦走路整備整備(2回)</li> <li>・太郎山虚空蔵山縦走路整備連絡会山岳講演会(1回)</li> <li>・太郎山虚空蔵山縦走路のろしりル(1回)</li> <li>・自然に親しむ講習会(1回)</li> <li>・季節に合わせた料理教室(4回)</li> </ul> 雨天により、いくつかの環境啓発イベントが中止になり、環境教室実施の回数は少なくなりましたが、他の機会において質の高い内容で環境啓発の高揚を行ったため、順調に成果を挙げています。すぐに、目に見える成果がでる活動ではありませんが、実績を積み上げて、目標を達成していきます。	西部公民館
			自然に親しむ講習会	2	3	1	3		
			季節に合わせた料理教室	10	10	4	10		
21	天然記念物の保護パトロールの実施及び生息地の環境保全に努めます	天然記念物の保護パトロールの実施及び生息地の環境保全	-	保護	保護	保護	保護	6月～10月にかけてパトロールを行っています。パトロールにより密猟者が減り保護されたと思われる。また、県のレッドデータブックに登録されているトンボも確認することができました。	文化振興課

(2) 水辺環境を守り・親しむ

これらの豊かな環境を保全していくため、健全な河川環境を確保し、身近な水辺環境を市民自らが親しみ、学びの場とすることにより、水辺環境の保全を推進していきます。

環境基本計画の施策の柱(基本目標)		2 自然・生き物・人が共生するまち	総括:多自然型水路(ホタル水路)整備や体験活動等の事業を行っています。また、河川愛護会等による河川活動も活発にされています。事業活動により水辺環境の保全・環境意識の向上に努めています。						
環境基本計画の施策内容(基本方針)		(2) 水辺環境を守り・親しむ							
連番	環境基本計画の施策の内容	施策の効果を測る指標	単位	状況(市民に対する効果)				平成21年度 総括	担当課
				H19	H20	H21	H21目標		
22	河川環境の保全活動を推進します。	河川活動をした団体数	団体	52	52	52	52	河川愛護会活動の支援を実施しています。52の河川愛護会が河川愛護作業を実施し、環境保全活動の推進を図ることができました。	生活環境課
23	農業用排水路において、環境に配慮した工法を推進します。また、非農業者も加えた地域の共同による農業施設や環境の維持保全活動を支援します。	農業用排水路の多自然型水路整備箇所(累計)	箇所	6	6	6	7	多自然型水路を整備することにより、住民の環境意識の向上を図っています。地元維持管理組織からの要望を受付し、実施しています。支援組織については新たに1組織加え、13組織を支援しました。	土地改良課
		支援組織	組織	10	12	13	13		

連番	環境基本計画の施策の内容	施策の効果を測る指標	単位	状況(市民に対する効果)				平成21年度 総括	担当課
				H19	H20	H21	H21目標		
24	自然とふれあう機会を創出します。	千曲川体験活動の実施	回数	1	1	1	1	活動を通じて、身近な自然とのふれあいを体験してもらいます。今年度は、7月4日(土)に開催し、207人が参加しました。環境を身近な問題として捉えるよい機会ですので、できるだけ多くの市民に参加してもらえよう、PRに努めていきます。	生涯学習課
25	農業用排水路において、環境に配慮した工法を推進します。	多自然型水路を1ヶ所整備する。	設置数	-	-	1	1	丸子地域では、残念ながら、実施してもよいという目治会または、地元有志のみなさんの参画がありませんでした。地元とすれば、コンクリート水路により流れを良くしてほしいという意味合いが強く、また負担金も発生することから環境によいことは思っても、実施には、無理があるものと推察します。武石地域では、平成21年度繰越で工事終了となりました。	丸子地域産業観光課

(3) 農環境を守り・親しむ 自然資源としての農環境を保全するため、農地と触れ合う機会を創出し、担い手育成を含め、持続可能な農業を積極的に推進していきます。

環境基本計画の施策の柱(基本目標)		2 自然・生き物・人が共生するまち	総括:農地面積が減少するのは避けられない現状ですが、適正指導により最小限に抑えています。また、棚田の保全及び活用、遊休農地の解消等に努めています。						
環境基本計画の施策内容(基本方針)		(3) 農環境を守り・親しむ							
連番	環境基本計画の施策の内容	施策の効果を測る指標	単位	状況(市民に対する効果)				平成21年度 総括	担当課
				H19	H20	H21	H21目標		
26	優良農地の確保を促進します。	農用地流動化促進奨励金対象面積	ha	105	87.0	109.0	70	農地貸借期間満了に伴う更新の増のほか、関係機関と連携し、農地の流動化(農地の貸借)を促進した結果、農地流動化等目標面積は109haとなり、当初の目標を大きく上回ることができました。引続き、優良農地を確保するため、貸借により担い手農家へ農地を集積します。	農政課
27	農地の保全・活用を図る	市補助事業による遊休農地の解消目標面積	ha	3.1	4.5	10.3	5	遊休化が著しい地区において、解消経費の負担が長年の課題となっていました。今年度国の補助金等を活用して実施することができました。また、市の助成制度を充実したり、農家等との話し合いを進めた結果、遊休農地の解消面積は10.3haとなり、目標を大幅に上回ることができました。引続き、遊休農地の解消を図るため、農業委員会やJA等の関係機関と連携を図るとともに農業者との話し合いを進めます。	農政課
28	棚田の景観を保全します(荒廃した棚田の有効活用)	複田面積	ha	0.4			27	埼玉県の大宮北高校(320人)、東京の共育学園(62人)の2校を受入れ、田植え・稲刈り体験実施 首都圏を中心に棚田オーナー27組を受入 田植え・稲刈り実施 7月18日(土)ほたる火まつりを実施、約500人来場 堰免の荒廃農地に雌牛2頭を放牧し、「牛の舌草刈り」を実施 案山子まつりの開催 豊殿小学校の田植え・稲刈り体験実施 火災予防のため、土手焼きは今年度から中止しました	農政課
		棚田面積	ha	24.5	24.5				
		ドロヤナギ定植面積	ha	0.4	0.3				
		棚田オーナー数	人	29	20	27			
		田植体験校数	校	2	1	2			
29	農薬の適正使用による農地への環境負荷の軽減を図ります。	講習会開催箇所数		-	5	5	5	生産者が集まる機会をとらえ、JAが主体となり、ポジティブリスト制度等の安全講習会を5箇所で開催しました。当初独自にハンドブックを作成する予定でしたが、経費的な負担等の検討の結果、JAが作成している防除日誌を活用し、記帳活動を推進しました。直売所の総会等をとらえて農薬の適正使用や記帳指導などを行いました。	農政課

3 地域資源を活かし地球にやさしいまち ……自然由来のエネルギー資源を有効活用し、継続的な資源の確保と地球環境にやさしいまちを目指します。

(1) 循環型社会の形成に努める 市民や事業者に着実に定着しつつある分別収集・リサイクル活動を更に推進し、リサイクルシステムの整備を推進することにより、循環型社会の形成に努めていきます。

環境基本計画の施策の柱(基本目標)		3 地域資源を活かし地球にやさしいまち		総括: 生ごみ減量化機器購入に対する補助金交付を始めとし、ごみの減量化・リサイクルを図っています。また、剪定木チップリサイクル化や落葉の腐葉土化を有効利用を図っています。					
環境基本計画の施策内容(基本方針)		(1) 循環型社会の形成に努める							
連番	環境基本計画の施策の内容	状況(市民に対する効果)						平成21年度 総括	担当課
		施策の効果を測る指標	単位	状況(市民に対する効果)					
H19	H20			H21	H21目標				
30	廃棄物を減量し、リサイクルを推進します。	ごみの資源化率	%	23.2	22.5	23.1	20	エコ講座の開催(2月~3月) ごみ減量化機器等購入費補助金の交付実績 ごみ減量化機器 338件 382台 ごみ減量化基材 865件 1,429袋 資源物回収カレンダーの全戸配布(12月) 「環境うえた」の発行、自治会回覧(3回) 「こどもごみ探検隊」の実施(8月) エコハウス「わくわく講座」の開催 24回 「ごみを減らそう講演会」の実施(2月) 「生ごみ処理事業庁内研究会」における生ごみ資源化に向けた検討(13回) 以上のような活動をとし、21年度の資源化率は23.1%で、目標値の20%以上を達成することができました。	廃棄物対策課
		焼却灰リサイクル量の資源化率	%	18.1	19.8	20.0	20	焼却灰の発生量約3,008トンのうち、概ね20%に当たる600トンのリサイクル処理し、資源化の推進と最終処分場への埋立量処分量の減量が図れました。	
31	商店などをエコストアとして認定し、市民とのパートナーシップを図ります。	エコストアの認定	店	31	31	33	32	ごみの減量・再資源化に取り組んでいる小売店をエコストアとして認定し、市民に紹介することでごみの減量化や循環型社会の形成に寄与しています。H20年度から全市域を対象とする旨を広報でお知らせし、募集を行いました。21年度においては、2店舗をエコストアとして新規認定することができました。	廃棄物対策課
32	剪定した樹木等のリサイクル・有効利用を図ります。	リサイクル(有効利用)率	%	82	90	94	100	公園管理事務所では、剪定木チップリサイクル化や公園内使用燃料化を行い有効利用しました。また、信濃国分寺史跡公園では、公園の剪定された樹木のチップ化、落ち葉の腐葉土化をしました。	公園管理事務所 信濃国分寺資料館

(2) 地球温暖化防止活動を推進する 地球環境の保全のため、地球温暖化防止に関する活動を積極的に推進していきます。

環境基本計画の施策の柱(基本目標)		3 地域資源を活かし地球にやさしいまち		総括:環境に対する意識向上を図り、環境保全に取り組むまちを目指しています。太陽光発電・太陽熱利用施設設置補助を始め、新エネルギーの利活用を進めます。うえだ環境フェアなどを通じ、環境にやさしい生活をアピールしています。また、クールビズ等の取組みが行われています。				平成21年度 総括		担当課
環境基本計画の施策内容(基本方針)		(2) 地球温暖化防止活動を推進する								
連番	環境基本計画の施策の内容	施策の効果を測る指標	単位	状況(市民に対する効果)				平成21年度 総括	担当課	
				H19	H20	H21	H21目標			
33	市役所庁舎内などの市の活動に伴う温室効果ガスの排出量抑制を推進します。	市役所庁舎全体の温室効果ガス総排出量	t	12,014	集計中	集計中	9,587	本年は4地域自治センターのISOの統一を行いました。前年から統一しているエコオフィスについてもISO活動に併せて、内部監査や外部監査等の機会を捉え、研修等で説明周知を図りました。	生活環境課	
34	新エネルギー利用、省エネルギーに関する補助や情報提供を進めます。	新エネルギー活用施設設置(太陽光発電・太陽熱利用)補助件数	件	114	188	243	220	太陽光発電・太陽熱高度利用設備設置補助を実施しています。平成18年度からは上田市の単独事業として行っています。本年度における補助件数は、前年度より55件、29.3%増えました。また、本年は塩田中学校へ太陽光発電システムを導入しました。	生活環境課 教育総務課 武石市民生活課	
35	各種団体と協力して、廃棄物の減量と資源再利用の促進に努めます。	うえだ環境フェア(旧消費生活展)の開催入場者数	人	1,200	1,300	1,100	1,000	うえだ環境フェアを通じ、廃棄物の減量や資源の再利用の促進を図っています。アンケートによる満足度は90%でした。	生活環境課	
36	家庭版ISOの普及を促進させます。	環境家計簿の配布数(～H14まで目標)	枚	150	30	4	-	平成15年度から環境家計簿実施家庭を「うえだエコ隊」と名づけ、目標を配布枚数から回収数に変え実施しています。継続して記録することは難しく、回収数はなかなか伸びませんが、実施した家庭の意識は高いです。しかしながら、本年の当初の申込みは4件でしたが、年度末の最終報告は1件のみであったことから、取組み方法等、検討する必要があると思われます。	生活環境課	
		環境家計簿実施回収家庭数(累計)(H15から目標)	世帯	66	67	68	72			
37	市の事業活動による環境への負荷低減・環境保全を推進します。	環境マネジメントシステムの運用	-	運用	運用	運用	運用	各種研修会の開催、内部監査の実施、視察、他市内部監査、第三者監査を行いました。また、上田・丸子・真田・武石地域のISO統合を行いました。	生活環境課	
		ノー残業デー、クールビズ等の啓発・促進	-	実施	実施	実施	啓発促進	6～9月にクールビズを実施しました。また、ノー残業デー(水曜日)、19(育児)の日(毎月19日)について、掲示板で周知を行いました。	人材開発課	

連番	環境基本計画の施策の内容	状況(市民に対する効果)						平成21年度 総括	担当課
		施策の効果を測る指標	単位	H21目標					
				H19	H20	H21	H21目標		
38	ISO14001などの、事業者に対する環境マネジメントシステム等に関して情報を提供し、事業者を支援します。	国際規格審査登録事業助成件数累計	件	47	48	0	交付	事業者への補助事業を周知し、交付要綱に適合する申請事業者に対してはすべて補助金を交付します。ホームページのリニューアルをし、告知をわかりやすく改善しました。本年の補助金交付はありませんでしたが、今後も情報提供や支援をしていきます。	商工課 生活環境課
39	各種団体と協力して、廃棄物の減量と資源再利用の促進に努めます。	来場者満足度 90%以上 来場者予定数 600人	% 人	- 690	94 630	92.4 624	90 600	11月15日に丸子地域消費生活展を開催しました。来場者満足度について、目標数値は達成できたが前年度を若干下回っているため、次年度は今年度以上の満足度をえられるよう、計画策定に努めます。	丸子市民生活課
40	ISO14001などの事業者に対する環境マネジメントシステムに関して情報を提供し、事業者を支援する。	参加企業 参加者	社 人	- -	49 49	50 90	50 50	丸子工業振興会・商工業後継者・工業3団体に対し、企業スキルアップ研修会及び後継者育成講座を行い、情報提供・取得支援説明を実施しました。しかしながら、金融不安を発端とする経済危機のため、ISO国際規格登録取得まで行きませんでした。	丸子地域産業観光課

(3)地球資源を有効利用する

自然由来のエネルギー資源を有効活用し、継続的な資源の確保と地球環境にやさしいまちを目指します。

環境基本計画の施策の柱(基本目標)		3 地域資源を活かし地球にやさしいまち	総括:雨水施設設置に対する補助やイベント等を通し、水の大切さを啓発しました。						
環境基本計画の施策内容(基本方針)		(2) 地球温暖化防止活動を推進する							
連番	環境基本計画の施策の内容	状況(市民に対する効果)						平成21年度 総括	担当課
		施策の効果を測る指標	単位	H21目標					
				H19	H20	H21	H21目標		
41	雨水貯留施設に関する補助や情報提供を進めます。	雨水貯留施設設置補助件数	件	17	26	22	30	H16年度に新設しました。雨水の補助に関して市民に浸透はしてきていると考えますが、本年においては、PRが不足してしまい目標としていた補助交付件数にはいたりませんでした。今後も、雨水の有効利用を推進していきます。	生活環境課 武石市民生活課

4 歴史や調和を大切にすまち ……文化的資源を保存し、古いものを大切にすま心をも育むとともに、調和のとれた美しいまちなみのあるまちを目指します。

(1) 歴史・文化を将来に引き継ぐ 上田市の恵まれた歴史的建造物など歴史・文化遺産や伝統芸能を保存し、訪れる市外の人々へも広く伝えるとともに、これらを将来の世代へと引き継いでいきます。

環境基本計画の施策の柱(基本目標)		4 歴史や調和を大切にすまち		総括:文化財の登録・指定により、文化財の保存・活用を進めています。また、講座や企画展を開催することで郷土の歴史を学び文化的資源保護の啓発を行いました。				平成21年度 総括	担当課
環境基本計画の施策内容(基本方針)		(1) 歴史・文化を将来に引き継ぐ		状況(市民に対する効果)					
連番	環境基本計画の施策の内容	施策の効果を測る指標	単位	H19	H20	H21	H21目標		
				42	文化財の調査・指定・保存・活用・後継者育成に努めます	文化財及び歴史的建造物の国の文化財原簿への登録を2件以上指定	件	186	187
43	歴史・文化的遺産とのふれあいの場を創出します。	講座・企画展等開催	開催	開催	開催	開催	開催	上田市立博物館では、展覧会、史跡見学会、博物館講座、古文書講座を開催しました。入館者数は歴史ブームもあり増加しました。山本鼎記念館では、美術教室、年賀状教室、展覧会などを開催しました。信濃国分寺資料館では、学校出張歴史体験教室、市民講座、史跡見学会、特別展等開催しました。また、親子歴史体験教室を開催しましたが、郷土の歴史を学ぶと同時に親子ふれあいの場となりました。	・博物館 ・山本鼎記念館 ・信濃国分寺資料館

## (2) 緑あふれるまちをつくる

緑や花にあふれたうらおいのあるまちづくりを推進していきます。

環境基本計画の施策の柱(基本目標)		4 歴史や調和を大切にすまち		総括:公園・緑地の保全と整備や、緑化の推進等の活動をとし緑や花にあふれたうらおいのあるまちづくりに努めています。					
環境基本計画の施策内容(基本方針)		(2) 緑あふれるまちをつくる							
連番	環境基本計画の施策の内容	施策の効果を測る指標	単位	状況(市民に対する効果)				平成21年度 総括	担当課
				H19	H20	H21	H21目標		
44	街路樹の植栽を推進します。	街路延長(累計)	km	13.1	13.6	14.3	延長	秋和踏入線 L=564m・南天神町常田線 L=126mを行いました。用地や補償等の要因にも大きく左右されるが、早期発注と早期完成に心がけます。	都市計画課
45	生垣設置の補助を行い、緑化の推進を図ります。	生垣設置新設補助延長(累計)	m	2,149.6	2,297.5	2,781.3	2,497.5	目標の15件、200mを大きく上回りました。生垣設置補助が、市民への周知されて来ていると考えられます。今後さらに生垣補助の対象地域、対象条件等について、研究していきます。	都市計画課
46	公園の整備を推進します。	市民一人当たり都市公園面積	m <sup>2</sup> /人	13.31	13.31	-		一人当たり都市公園面積を指標とするが、H20から公園の開設がないので、上記の整備面積を目標とします。	公園緑地課
		公園整備面積	ha	161.07	161.07	0.25	0.27		
47	緑化を促進します。	花の種銀行の登録者数	人	648	688	745	700	花の種銀行では、花づくり講習会を4回開催し、口座開設者は745人でした。また、公共用地等へ桜等の植樹をしたり、地域自治会等へ花苗を配布し、うらおいのあるまちづくりを推進しています。	公園緑地課
		花作り講習会開催回数	回	4	4	3	4		
		植樹	本	90	470	60	50		
		花苗配布	株	88,727	107,491	131,140	95,000		
48	緑地を保全します。	染屋台グリーンベルトの保全 散策道整備	m	274	304	検討	検討	・里山体験ボランティアは、5月、7月、9月、11月、3月の5回実施しました。 ・緑地保全については、不動産鑑定等を実施し、保全方法の検討を行いました。	公園緑地課
		里山体験ボランティア	回	1	6	5	5		
49	住民参加による道路沿い等地域の緑化を図る	新規団体	団体	0	2	1	-	花いっぱい運動、花づくり事業、落葉の堆肥化事業等を住民参加により行いました。また、「花だより」の配布や講習会を行いました。住民の積極的参加があり、道路沿い等の緑化が図られていると思います。	丸子地域建設課
		住民による花苗植栽	人	2,484	2,143	3,460	2,200		
		コンクールへの参加	団体	15	14	19	-		
		球根植栽団体	団体	19	16	17	-		
		講習会への参加	人	27	29	25	-		
50	丸子ベルパークの花壇をボランティア参加者により管理してもらい花などの情報を交換し合う場を提供します	ボランティア参加者	人	252	223	236	225	丸子ベルパーク花壇の花植本数、配置図作成、植栽作業、管理等をボランティアで行っています。地域住民の情報交換の場としても役立っています。	丸子地域建設課

(3) 調和のとれた美しい景観を保つ 調和のとれた美しい景観の保全・形成に努めるとともに、美化の推進等マナー向上を推進していきます。

環境基本計画の施策の柱(基本目標)		4 歴史や調和を大切にすま		総括:歩道のバリアフリー化や電線の地中化などを行い美しい景観の保全・形成に努めています。また、景観形成団体やアダプトシステム協力団体等の協力のもと、美化活動において住民参加による積極的な活動が行われています。					
環境基本計画の施策内容(基本方針)		(3) 調和のとれた美しい景観を保つ							
連番	環境基本計画の施策の内容	状況(市民に対する効果)						平成21年度 総括	担当課
		施策の効果を測る指標	単位	H19	H20	H21	H21目標		
51	地域美化活動を推進します。	ごみゼロ運動の参加人数 河川清掃回数(H15～)	人 回	11,974 2	9,275 2	9,336 2	10,000 2	ごみゼロ運動は地区別に4回に分け実施し、河川清掃は春秋計2回実施し、地域の美化活動を推進しました。	生活環境課
52	ポイ捨て条例に基づき美化活動を推進します。	H15ポイ捨て条例制定 H16～パトロール回数	-	月3回	月3回	月3回	パトロール回数 月3回	「上田市ポイ捨ての防止等に関する条例」を制定し、平成16年4月1日施行されました。今年度も、成人式でのポイ捨て防止啓発チラシを配布しました。環境美化監視員によるパトロールを毎月3回実施しました。	生活環境課 丸子市民生活課 武石市民生活課
53	犬猫の糞尿害に対する対策を推進します。	苦情件数(上田地域)	件	27	23	43	39以下	飼育方法のチラシ配布、自治会でのチラシ回覧、広報への掲載、啓発看板の設置等を行いました。苦情件数は増加しました。	生活環境課 丸子市民生活課 武石市民生活課
		苦情件数(丸子地域)	件	25	13	7	15以下	目標数値は達成できたが、常習的な場所もあるため、次年度以降も引き続き周知を行います。	
54	上田駅周辺の放置禁止区域における自転車等の駐車をなくします。	放置自転車の撤去件数	件	359	311	497	300以下	放置自転車を撤去する時間帯を外して駐輪する者が見受けられるため、一斉撤去等の新しい方法の検討をする必要があると考えます。	管理課
55	電線類の地中化を推進します。	電線共同溝延長	m	373	373	433	443	北向観音線の整備を行いました。施工延長は精査の結果60mとなりましたが、計画どおり完成しました。	土木課
56	歩道のバリアフリー化を推進します。	歩道延長(累計)	m	13,950	15,379	16,720	L = 3,027	計画の3027mについて、用地交渉等で計画を見直した結果下記のとおり実施した。 ・年度末の発注実績は、8件1,533m ・年度末の完了実績は、現年分が850m ・前年度繰越分が491m、計1,341m ・繰越は683m 今後、早期発注に努め翌年度への繰越を減らします。	土木課

連番	環境基本計画の施策の内容	状況(市民に対する効果)						平成21年度 総括	担当課
		施策の効果を測る指標	単位	H19	H20	H21	H21目標		
57	景観形成市民団体等の認定	アダプトシステムの締結件数(累計)	件	11	14	18	15	今年度は長島自治会、下小島ボランティアサービス、上室賀本組組会、塩川小学校PTA藤原田とアダプトシステムの協定を結びました。 自治会にアダプトシステムの制度、手続き等について周知したことから、協定を結ぶ団体が増えてくると予想されます。 さらにこの制度が全市的に普及するよう取り組みます。	都市計画課
		住民協定の締結(累計)	団体	5	5	5	6		
58	市民・事業者に対する景観づくりの意識啓発をします。	景観ウォッチング(ウォーキング)の実施者数	回	2	2	2	2	景観ウォッチングを2回実施しました。 10月は自転車を使いウォッチングを行ったことにより、参加者を制限しました。また、3月も狭い街中の道路を歩いたため、参加者を制限しました。 年2回の開催は、今後も続けていきます。	都市計画課
59	良好な景観の形成及び保全を推進します。	規制区域の延長距離(累計)	Km	20.92	20.92	23.31	23.31	今年度は上田バイパス第2期工区、浅間サンラインの住吉南交差点～第一中学校～国分トンネルまでの2.39kmを、屋外広告物規制地域に指定しました。	都市計画課
60	沿道景観の美化と風致を維持します。	貼り紙撤去数	枚	26	50	17	撤去	最近特に違反広告物が少なくなり、除去件数が少なく良い傾向が続いています。 今後もこの状態が続くよう定期的巡回を行います。	都市計画課
		立看板撤去	枚	17	24	7			
		のぼり旗	件	-	-	52			
61	良好な景観の形成及び保全を推進するため、上田市景観計画を策定します	上田市景観計画の策定			検討	検討	策定	景観計画策定前に、都市計画制度の高さ規制を導入することになります。 その範囲、高さについて現在検討中です。 都市計画制度の高さ規制の範囲、高さの基準を十分検討後、住民説明会等を行い、住民の同意を得られた地区の都市計画決定を行います。 その後、景観計画の策定を進めます。	都市計画課
62	地域美化活動を推進します。	依田川等の河川パトロール・清掃実施(春・秋2回)	回	2	2	2	2	5月14日(木)と10月29日(木)に千曲川・依田川のパトロール及び清掃を実施しました。 述べ38名の参加がありました。 可燃物 400kg・不燃物 270kgを収集しました。	丸子市民生活課

5 環境を思いやる人があふれるまち …一人ひとりが普段から環境のことを考え、環境のために行動ができる人々が集まっているまちを目指します。

(1) 環境にやさしい人をはぐくむ 市民、事業者がそれぞれ環境を学ぶことができるよう、環境教育の推進を行うとともに、個々の環境に配慮した行動のリーダーシップをとれるような人材育成に努めます。

環境基本計画の施策の柱(基本目標)		5 環境を思いやる人があふれるまち		総括: 保育園・学校、公民館等の活動を通して、環境教育・環境学習を推進しています。広報・ホームページ等を通じ、環境に関する情報を提供しています。今後も広く情報を提供していくほか、各活動に対し支援、協力を行っていきます。				平成21年度 総括		担当課
環境基本計画の施策内容(基本方針)		(1) 環境にやさしい人をはぐくむ								
連番	環境基本計画の施策の内容	状況(市民に対する効果)						平成21年度 総括	担当課	
		施策の効果を測る指標	単位	H19	H20	H21	H21目標			
63	市民向けパンフレットに環境啓発文を印刷する			・パンフレット内に上田市環境方針を印刷 ・生活ガイドブック内にチームマイナス6パーセントのロゴ印刷 ・再生紙使用の文言印刷	-	実施	実施	実施	実施	パンフレット内に上田市環境方針を印刷したり、生活ガイドブック内にチームマイナス6パーセントのロゴ印刷をし環境への啓発を行いました。印刷にあたっては、再生紙・大豆インクを使用しました。
64	環境に対する意識の啓発を図る(地球温暖化を考慮し、無駄を最小限度に抑える工夫)	参加者の満足度90%以上	%	100	100	100	90	うえだ市民フェスティバルにおいて、参加団体の展示発表でエコの呼びかけを行いました。エコ料理講座では、無添加にこだわり身近な材料で、ゴミを出さない使い切る料理を学びました。	人権男女共同参画課	

連番	環境基本計画の施策の内容	状況(市民に対する効果)						平成21年度 総括	担当課
		施策の効果を測る指標	単位	状況					
				H19	H20	H21	H21目標		
65	保育園・小中学校での環境教育・環境学習活動を推進し、環境に対する意識啓発を図ります。	こどもエコガイド事業の推進	取組チェック点数 (70点満点)	1回目 43.1点 2回目 47.5点	推進	推進	推進	こどもエコガイドを小学校4年生に配布し、環境に対する学習に活用しています。学校ISOの取り組みによる効果や、取組を繰り返すことで平均点が上がり、事業の効果がうかがえます。また、児童を通じ家庭にも環境への意識啓発を図っています。	生活環境課
		「こどもエコクラブ」事業の推進	クラブ数	1	4	8	4	子どもエコクラブ事務局として環境省・県環境課からのパンフレットや通知等の配布による啓発。報告等の取りまとめを行っています。本年度は、最終的に8団体(組織)が登録・活動をし、前年より倍の活動団体数となりました。	生活環境課
		保育園・小中学校等の環境改善活動において、ISOの手法を推奨し、支援協力した項目	-	支援協力(園長会等)での説明等 出前講座2回	支援協力(園長会等)での説明等	支援協力	保育園・学校等の環境活動への支援・協力	保育園では「環境にやさしい保育園」として、学校においては「環境にやさしい学校」として、環境改善活動を進めています。今後も環境保全担当課として支援協力をしていきます。	生活環境課 学校教育課
		保育園の環境改善活動への支援・情報の提供等	-	「ぱっくん」による環境教育 生ごみ処理機設置 支援協力	「ぱっくん」による環境教育 生ごみ処理機設置 支援協力	「ぱっくん」による環境教育 生ごみ処理機設置 支援協力	搬出生ごみ減量 堆肥利用 園児保護者の興味	「環境にやさしい保育園づくり」の実績により、園児及び家庭においても資源に対する関心がもたれるようになりました。生ごみ処理機を武石保育園に導入しました。	保育課
		学童農園の保全・活用	m <sup>2</sup>	18,893	18,861	18,861	18,861	旧上田市内16小学校の5年生1,200人により実施しました。農薬を使用していないため、安心して食べられる米作りができました。自分たちで育てたものを自分の手で収穫し、食べることを通して食べ物を得ることの大変さ、大切さを体験できました。農地の確保が難しくなっていますが、農業委員会等の協力を得て、今後も当該事業を継続して実施したいと考えます。	学校教育課

連番	環境基本計画の施策の内容	状況(市民に対する効果)						平成21年度 総括	担当課
		施策の効果を測る指標	単位	H21年度					
				H19	H20	H21	H21目標		
66	保育園・小中学校での環境教育・環境学習活動を推進し、環境に対する意識啓発を図ります。	学校の環境改善活動への支援・情報の提供等	-	支援協力(雨水タンク設置等)	支援協力(雨水タンク維持管理等)	・光熱水費の削減量 ・学校ISO計画を全小中学校で作成・実行	学校への支援・協力	「環境にやさしい学校づくり」を推進しています。各校とも実施計画により環境教育、環境改善活動が実施できました。小中学校への雨水タンク設置は、19年度にすべての小中学校への設置が完了しました。今後、配備した雨水タンク等の維持管理を適切に行います。	学校教育課 丸子学校教育課
67	環境問題に関する講座を開催し、市民の環境に対する意識の啓発を図ります。	各公民館における環境をテーマにした各種講座の開催	講座	1(1回) 3(8回) 2(9回) 5(7回) 5(11回) 3(18回)	2(3回) 2(12回) 2 6(12回) 5(11回) 7(22回)	6(10回) 2(9回) 5(10回) 5(13回) 4(21回)	1	各種講座を企画・開催し、市民の環境への意識啓発を図っています。トレッキング・里山整備事業・自然観察・季節にあった料理や郷土料理教室・親子エコ・クッキング等を行いました。各講座の開催は環境に目を向けるよい機会になり、公民館活動だけでなく、実際に講座で学んだことを実践するなど、地域への広がりが見られます。	中央公民館 西部公民館 城南公民館 上野が丘公民館 塩田公民館 川西公民館
68	エコオフィスうえだ推進活動のPRと啓発を兼ねた館内掲示	・地球環境保護意識の高揚 ・点字図書館のランニングコスト削減のため「上田市役所地球温暖化防止実行計画」に基づく環境負荷の低減活動のPRと協力を兼ねた啓発(館内掲示)	回	-	-	1	1	「上田市役所地球温暖化防止実行計画」に基づく環境負荷の低減活動について館内へ掲示し市民への啓発を行いました。	点字図書館
69	小中学校及び利用者の環境教育・環境学習に対し、支援・協力します。	環境関係の本の紹介・展示等の実施	-	・本の紹介 ・展示の実施	本の紹介・展示の実施	・本の紹介 ・展示の実施 ・本のリサイクル市	本の紹介・展示の実施	本の展示、小中学校への本の紹介・本のリサイクル市を行いました。来館者への環境への関心を高めることができました。また、リサイクル市では、準備冊数のほとんどを持ち帰っていただくことができました。	上田図書館 上田情報ライブラリー
70	市民協働により歩行エリアのカラー塗装を推進します。(コロベタ大作戦)	カラー塗装距離(累計)	m	1,468	4,228	7,448	6,828	今年度は年度実績 16路線 L=3,220mを実施した。市民との協働により目標を大きく上回りました。	土木課
71	地域映像をデジタル化し、環境等について情報発信します。	地域映像コンテンツ作成 ホームページアクセス数 出前上映会 VODアクセス数	作品 回 回 回	- 152,176 52 522	- 121,385 29 282	2 162,475 24 377	1以上 150,000以上 50以上 1000以上	インターネット、地域イントラネット、出前上映会にて地域映像を情報発信しました。地域映像コンテンツを2件作成しました。	マルチメディア情報センター

連番	環境基本計画の施策の内容	状況(市民に対する効果)						平成21年度 総括	担当課
		施策の効果を測る指標	単位	H19	H20	H21	H21目標		
72	太陽光発電により有害物質を排出しないクリーンなエネルギーが供給できることを来館者に周知します	来館者数 36,000人以上 社会科見学 10校以上	人 校	35,871 13	35,716 5	36,262 6	36,000以上 10以上	太陽光発電の存在をパネルにより来館者にPRし、太陽光発電では有害物質を排出しないクリーンなエネルギーが供給できることを周知し、環境への配慮を啓発することができました。	マルチメディア情報センター
73	環境関連情報を発信します。	身近な環境についての番組を作成・放送	回数	月1回	月2回	月1回	月1回	中部電力から月1回「電気の豆知識」を収録に来ていただき放送しています。また、「環境にやさしい時間」として身近な環境への取り組みを題材に番組を作成し、月1回放送しました。また、「有線放送だより」にも「チョコレート」を掲載しました。(偶数月発行)	塩田有線放送所
		関係するホームページのアクセス件数(累計) 環境啓発記事の広報への掲載ページ数(～H18は件数)	件 ページ	1,492 5	2,315 5	1,403 8	1,000 5	広報・ホームページ等を通じて情報提供をしています。 チラシや文書等に環境関連の情報・文言を入れることを促進しています。	秘書課 生活環境課 他 関係課
74	情報誌に環境問題などについて掲載し、子どもや親の意識啓発の機会とします。	情報誌YAっHO - に環境に関する記事を掲載する。	回	2	2	1	1	2月26日発行の36号で「千曲川学習のすすめ～川のおもしろさをみんなに伝えたい!～」と題し、第四中学校1年生の千曲川での環境学習の取り組みをコラムとして掲載しました。 子ども向けの情報誌に定期的に環境情報を掲載することで、子どもや親の意識啓発の機会とします。	生涯学習課
75	丸子地域自治センターだよりにより環境活動や環境情報を発信します	各号に環境情報を掲載します。	回	-	5	6	6	丸子地域自治センターだよりに環境情報や活動状況を掲載し地域住民に向けて環境へ意識啓発を図りました。	丸子地域振興課
76	環境に対する意識の啓発を図る(地球温暖化を考慮し、無駄を最小限に抑える工夫)	女性団体に対する環境啓発イベントにおける市民への環境啓発チラシの配布	啓発	啓発	啓発	啓発	啓発	研修会・学習会時に環境学習を取り入れました。 会議開催の都度、環境に関する意識の啓発及び相乗りに努めました。	丸子市民生活課
77	講座等とおし地域住民の環境に関する意識の啓発を図る	名水を歩く		6				おいしい料理教室は、郷土料理を学び地域の食材を使って親子で学ぶことができました。 わんぱく森林塾は、ふるさとの森で自然の恵み、自然の豊かさ、森林の大切さを学ぶことができました。	真田教育事務所
		おいしい料理教室	回	6	6	6	意識啓発		
		わんぱく森林塾		6	6	6			

(2) 環境にやさしい地域をはぐくむ

地域全体での積極的な環境保全行動を推進するための基盤づくりとして、市民のパートナーシップ、地域のパートナーシップ、市民・事業者のパートナーシップなどさまざまな地域社会の連携体制の整備を推進していきます。

環境基本計画の施策の柱(基本目標)		5 環境を思いやる人があふれるまち	総括:うえだ環境市民会議の活動が活発に行われています。その活動が地域にも広がり環境保全意識の啓発となっています。					平成21年度 総括	担当課
環境基本計画の施策内容(基本方針)		(2) 環境にやさしい地域をはぐくむ							
連番	環境基本計画の施策の内容	施策の効果を測る指標	単位	状況(市民に対する効果)					
				H19	H20	H21	H21目標		
78	うえだ環境市民会議を開催し、市民・事業者・行政とのパートナーシップにより環境改善活動を推進します	H15うえだ環境市民会議の設置 H16～啓発活動実施回数	回	42	42	44	44	全体での活動に力をいれ、駅前清掃や体験学習を実施しました。また各プロジェクトチームにおいても、それぞれ活動をしています。	生活環境課
79	環境にやさしい「新技術等の開発」を行った業者に対し応援します。	補助金交付	件	3	7	5	交付	交付要綱に適合し、採択された申請業者に補助金を交付しました。今後も事業者への補助制度の周知を行います。	商工課

(3) 環境活動を発信する

これらの恵まれた自然資源を活かし、市内だけでなく市外の人へも環境とのふれあいの場を提供することで、環境活動の発信・普及啓発に努めていきます。

6【その他～各課独自設定目標】 環境に配慮した業務改善

連番	環境基本計画の施策の内容	状況(市民に対する効果)						平成21年度 総括	担当課
		施策の効果を測る指標	単位						
				H19	H20	H21	H21目標		
1	環境配慮項目の導入、環境配慮事業の優先実施に向けて仕組みづくりを進めます。	実施計画の策定	-	-	策定	策定	策定	実施計画策定事務は、作成資料が多く印刷部数等、削減は難しい状況です。また、次年度は総合計画後期分の策定作業もあることから、実質的にはかなりのコピー数の増加が見込まれます。できる限り無駄の少ない作業をするよう、確実な数量を見込むよう、課内で徹底するよう努めます。	政策企画課
2	自治会定期送達における無駄を排除した適正数把握と周知徹底の実施をします。	数の把握と周知徹底	-	-	実施	実施	実施	月2回の周知徹底を図り実行しました。また、配付数、回覧数の変更は随時受け対応しました。変更した配付数、回覧数については庁内周知を図り徹底しました。	まちづくり協働課
3	環境負荷の少ない施設となる構造、設備の導入を検討します。	構造・設備の検討	-	-	検討	検討	検討	公聴会、検討会、懇談会等の開催により意見交換を実施しました 市民等からの意見として、「太陽光発電等の導入による環境負荷の低減、環境にやさしい施設整備。」が出されました。 今後もよりよい施設建設に向け検討していきます。	交流・文化施設建設準備室
4	環境負荷の少ない施設となる構造、設備の導入を検討します。	基本計画での環境配慮策の充実度	-	-	-	検討	検討	地域医療再生計画を策定し、地域周産期医療を担う一翼として移転新築を位置づけました。 信州大学病院、長野病院などと協議のうえ移転新築場所、方向性などを決定し議会で報告しました。 地域経営会議において、新産院の経営経営計画、建設財源、スケジュールの決定を行いました。 市民等からの意見集約は平成22年度に行います。	産院建設準備室
5	地域内の住民や各種団体に向けた環境啓発等を行います。	環境啓発	-	-	啓発	啓発	啓発	ポスター掲示等の環境啓発、団体との連携、資源回収時の啓発等を実施しました。また、花の植栽等、環境整備に努めました。	豊殿・塩田・川西地域自治センター
6	地域行事への支援・参加及び地域との連携による環境保全・啓発	地域行事への支援・参加 環境啓発ポスターの掲示等	-	環境啓発	環境啓発	環境啓発	環境啓発	毎週のビン缶回収時の指導、稲倉の棚田田植え等の各種地元行事・会議に積極的に参加しました。	豊殿地域自治センター
7	本庁及び教育委員会のコピー用紙の削減を図ります。	コピー用紙の削減	-	7,524,000	7,697,500	8,740,000	8,000,000	コピー用紙の削減を図っていますが、市役所全体で業務量が増加しているため、コピー用紙の購入枚数が増加しています。 文書担当者会議などで更なる節減について、周知を図っていきます。	行政管理課

連番	環境基本計画の施策の内容	状況(市民に対する効果)						平成21年度 総括	担当課
		施策の効果を測る指標	単位	H19	H20	H21	H21目標		
8	事務事業の効率化・省力化・迅速化を図り、行政経営への転換を目指します。	集中プラン進捗管理・事務事業仕分け			実施	実施	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集中改革プランの後期取り組みについては、上半期進捗状況の把握を取りやめ、年度末に3年間の一括した全体総括を各課で行い集計を行いました。なお、目標達成度については、平成22年度前半において評価することとしました。</li> <li>・職員提案制度の提案募集を行い、9件の事務改善等に対して表彰と庁内PRを実施しました。</li> <li>・公の施設指定管理者候補者選定委員会を開催し、3施設(2件)について選定し、指定管理者制度を導入しました。</li> <li>・良質な市民サービスの提供に繋げるため、窓口モニタリング調査(覆面調査)を実施し、職員の接遇状況等を調査しました。</li> </ul>	行政改革推進室
9	老朽化した空調設備を更新することで、冷却効率の向上、消費電力の抑制及びシステムの安定化を図ります	・マシン室内において、23～30と場所ごとに温度差があったものを室内均一に25に保つ	-	-	-	実施	実施	マシン室内の温度については、場所によって温度差がありましたが、本年においては均一化が図られました。	情報推進課
10	市民からの申請業務及び内部業務での利用拡大	電子申請業務数  各申請の受付数	業務  件	-  -	22  5,234	20  3,248		電子申請メニューの、見直しと搭載可能業務の洗出しを行いました。 平成20年度よりアンケート調査などの業務が減ったため、メニュー数、受付件数が減少しましたが、県内でも上位の利用状況となりました。	情報推進課
11	環境に配慮しつつ、効率的な行政経営をめざした予算編成	効率的・効果的な行政経営を目指した予算編成 環境基本計画に実現に向けた施策への予算配分	-	予算編成	予算編成	予算編成	予算編成	<p>平成21年度予算における環境施策への予算配分(補正予算対応等)を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街省エネルギー促進事業</li> <li>・低公害車導入事業</li> <li>・健康保健センターへの太陽光発電設置工事</li> <li>・新エネルギー活用施設設置費補助金の増額補正等</li> </ul> <p>地域活性化・経済危機対策臨時交付金、地域活性化・きめ細かな交付金等国の経済対策事業を活用した環境施策の実施しました。 (低公害化、自然エネルギーの活用等)</p>	財政課

連番	環境基本計画の施策の内容	状況(市民に対する効果)						平成21年度 総括	担当課
		施策の効果を測る指標	単位	状況					
				H19	H20	H21	H21目標		
12	地球を守る 前年エネルギー使用量より削減	ガソリン	ℓ	62,256	63,463	64,956		電気料については、昨年度とほぼ同様の使用料であったことから、ほぼ達成できました。 燃料関係では、灯油、A重油については、達成できたが、ガソリン、軽油、都市ガスについては、達成できませんでした。 庁用自動車の燃料の削減に努めるため、職員に近距離の移動は、庁用自動車を使用せずに、自転車の利用や徒歩による移動を呼びかけていきます。	公有財産管理課
		電気	kWh			1,236,970			
		灯油	ℓ	7,309	6,640	3,985			
		軽油	ℓ	14,903	13,238	14,584			
		A重油	ℓ	60,000	52,000	48,000			
		都市ガス	m <sup>3</sup>	13,695	11,975	12,861			
		水道	m <sup>3</sup>			9,838			
		可燃ごみ	kg			89,040			
13	eL-TAXサービスの拡充による業務の改善の取組みとエコオフィスの推進	業務改善	-	計画確定	業務改善	業務改善	業務改善	平成22年度予算化を目指したeL-TAXについては、要望どおり予算化され、平成23年1月から運用を開始します。 また、給与支払報告書の電子データでの報告の推進については、前年度と同じ22件でした。	税務課
14	印刷物の発注にあたっては前例にとらわれることなく仕様内容を再検討する	・紙の材質(過剰な材質にしない) ・発注数量(概ね1年間の必要量を発注する) ・納品先の箇所数(原則1箇所とする) ・余白の面積(余白をできるだけ少なくし、紙面の有効活用を図る)	-	-	-	業務改善	業務改善	・印刷物の発注にあたっては前例によることなく、材質、数量等も十分検討のうえ発注しました。しかし、一部印刷の技術上材質を落とせないケースがありました。 ・印刷物の余白、特に封筒の裏面を積極的に活用しました。 ・各種印刷物の納品先も原則1箇所にして、各地域自治センターへは文書メール便等により対応しました。	市民課
15	課内にある情報機器の削減	情報機器の設置台数	-	業務改善	業務改善	業務改善	業務改善	異なる2システムの入ったパソコンを1台ずつ、それを1組として使用しています。 過去において、1台のパソコンで2システムを起動し使用できるよう、3組を試験的に行っていましたが、不具合が生じていました。 本年は、情報推進課の指導の下、1組統合することができました。	市民課
16	印刷物、コピー用紙の削減をします。	コピー枚数180,000枚		170,400	159,900	176,710	180,000		福祉課

連番	環境基本計画の施策の内容	状況(市民に対する効果)						平成21年度 総括	担当課
		施策の効果を測る指標	単位						
				H19	H20	H21	H21目標		
17	事務改善を図ることによって、高齢者の介護支援をスムーズにすすめ、元気なお年寄りをつくる。公共下水道接続により、効率的な汚水処理を行う。	事務改善 ・塩田デイサービスセンターの合併浄化槽による汚水処理をやめ、公共下水道に接続する。	-	-	事務改善8件	・事務改善 ・公共下水道への接続終了	・事務改善 ・公共下水道への接続	塩田デイサービスセンターの公共下水道への接続については終了し排水開始となりました。介護老人福祉施設(特養)整備の打合せを十分に行い、より良い高齢者の介護支援ができる施設の選定を進めました。(1月～4月選定予定)	高齢者介護課
18	健康講座などや健診(検診)で環境について考える機会を与える	乳幼児検診、健康教室においてマイボトルの持参によるごみの減量や環境保全の啓発	-	-	-	実施	実施	乳幼児検診、健康教室においてマイボトルの持参によりごみの減量を図っています。	健康推進課
19	節電、コピー用紙、紙ごみの削減	21年度 コピー枚数 120,000枚 (医療制度改革の影響による増加が昨年度から継続)	枚	96,749	110,196	111,367	120,000	目標の達成はできましたが、20年度比で1.06%増加となりました。	国保年金課
20	入館数の増加とエコオフィスの推進・環境啓発	入館者数30,000人以上 一人当たりの電気量5kWh以下	kWh/人 人	5.31 31,502	5.87 32,110	6.2 33,391	5 30,000以上	入館者数も1200人以上増加し、コピー枚数も削減でき、光熱水費全体の経費は削減できました。しかし、館内の空調にかかる電気使用量が気候の変化により増加してしまいました。今後は光熱水費の使用量削減に努めます。	池波正太郎真田 太平記館
21	環境負荷低減を考えた観光案内	パンフレット等にQRコードを入れる	-	QRコードの使用			QRコードの使用		観光課
22	建設工事にあたり、環境に配慮した計画・設計及び工事施工に努めます。	環境配慮	-	-	環境配慮	環境配慮	環境配慮	計画・設計における環境配慮と、工事施工における環境配慮を行い、報告対象となる2000万円以上の事業10件について目標の100%は達成できなかったが、98.1%とほぼ目標を達成しました。	建築課
23	財務会計事務の改善	適正帳票率向上、新財務会計システム導入検討	%	93.2	95	97	向上	財務会計・現金収納研修会を12回開催しました。適正帳票率が向上(不備率が減少)、支払審査件数の減少が達成されました。	会計課

連番	環境基本計画の施策の内容	状況(市民に対する効果)						平成21年度 総括	担当課
		施策の効果を測る指標	単位						
				H19	H20	H21	H21目標		
24	環境関連情報を発信し、グリーン購入の推進と啓発を図る。	環境啓発			啓発	啓発	啓発	会計課印刷による市役所使用封筒に「再生紙使用」と「チームマイナス6%」のロゴを入れ、市職員の意識の啓発を図ると同時に、上田市の取り組みを広く市民にアピールしました。	会計課
25	適正な浄水場管理	配水量の120%以内の取水 泥土の改良土化等	%	119	122.1	126	120	安心・安全な水道水の提供のために、浄水場・施設における消毒剤の適正な注入、需要量に見合った適正な取水量管理、浄水場泥土の適正な処理処分委託、河川水質検査(月1回)の実施を行いました。	浄水管理センター
26	おいしい給食をつくり、廃棄物の抑制と再利用を図ります。	BDF	リットル	1,566	2,016	1,764	利用	施設見学、試食会、学校訪問、残菜調査、指導委員会を開催しました。 月1回、委員会を開催し、食育・給食の献立・残渣等について協議しました。 代替燃料(BDF)を利用し化石燃料の抑制を図っていますが、精製機械の故障により使用量は減少してしまいました。	第一学校給食センター
		食物残渣	kg	65,418	60,931	61,847	調査・減量・活用	残渣量の調査では、結果を各学校に知らせ、お互いに認識を新たに今後の減量に向けて努力することを確認しました。なお、今年度は新型インフルなどで欠席者が多く、残渣量が多かったです。 畜産飼料についても更に活用していきます。畜産飼料は献立内容により、増えたと思われます。	第二学校給食センター
27	施設利用者への環境啓発をします。	環境美化啓発	-	-	美化・啓発	・美化 ・資源の削減 ・啓発	・美化 ・資源の削減 ・啓発	自然運動公園では、草刈による遊歩道整備やゴミ拾い等を実施しました。 また、市民会館・自然運動効遠ともに、水道量、灯油使用量等の削減に努めるほか、利用者への啓発に努めました。	市民会館 自然運動公園管理事務所
28	各種大会で参加者と協力してゴミの減量に努めます。	大会終了時のゴミ残量		ゴミ減	ゴミ減	ゴミ減	ゴミ減	パンフレット等へゴミ持ち帰り等の文言を記載し、大会終了時のゴミ残量の減量に努めました。	体育課
29	市議会議員への環境に関する意識啓発をします。	議員への意識啓発	-	-	意識啓発	意識啓発	意識啓発	紙類、ゴミの分別は徹底されてきました。コピー用紙使用枚数の削減についても、意識啓発をはかり使用量の削減が図られています。	議会事務局

連番	環境基本計画の施策の内容	状況(市民に対する効果)						平成21年度 総括	担当課
		施策の効果を測る指標	単位						
				H19	H20	H21	H21目標		
30	監査の際に事務事業の改善を指導します。	事務事業の改善指導	改善指導	-	改善指導	改善指導	改善指導	監査計画に従い、概ね順調に各種監査が実施できました。今後もより多くの監査結果が新年度の事務事業に反映できるように努めます。	監査委員事務局
31	自治会や市民団体が行う環境活動を支援・協力します。	実施団体 10団体	支援・協力	-	支援・協力	支援・協力	支援・協力	丸子各地域の環境整備課題に向けて、花木植栽による生活環境整備など、地域資源を活用した取り組みが進んでいます。実施10団体すべての実績に補助金を交付し、実績報告会で市民向け情報を発信しました。	丸子地域振興課
32	公共工事コスト縮減調査を実施し結果を周知します。また更なるコスト縮減を呼びかけます。	前年度分公共コスト縮減調査の実施 公共工事コスト縮減 10.00%	%	11.1	9.24	3.88	10	実施担当課から提出された測定票より成果を測定しています。結果を担当課へ周知しました。	丸子地域振興課
33	市営住宅の管理事務業務の効率化と環境啓発に努めます。	口座振替率(丸子)	%	90	91	91	91	新規入居者への口座振替の推進をしました。平成21年度新規入居者の口座振替は14/14件でした。	丸子市民生活課
		口座振替率(武石)		86.4	88.7	90未満	90	口座振替率向上のため推進活動を行ったが目標には至らなかった。	武石市民生活課
34	環境にやさしい給食づくりと配送業務(食品残渣の減少とBDF利用の配送車の運行)	BDFの利用量	リットル	-	180	298	利用	給食配送車にBDF燃料を使用しています。残渣量が減少するよう今後も指導していきます。	丸子学校給食セン
		残渣量	kg	7392	8652	2081	減量		
35	良好な環境と循環の仕組みに支えられたまちを目指します	各種事業時、車両乗り合わせによる参加の呼びかけを実施します。<事業周知時における呼びかけ>	利用者(人)	82,224	71,335	算出中	啓発	丸子文化会館セレスホールや小ホールで行った自主事業、社会教育事業の際下記事項について行いました。 開催通知に乗り合わせの呼びかけを記載。 館内に啓発文書を掲示し周知。 開催時、口頭で周知。 今後も継続して行っていきます。	丸子社会教育課
36	あおぞら号の利用冊数の向上を図ります	貸出冊数 21,000 冊	冊	16,753	23,701	22,973	21,000	丸子・武石地域で移動図書館車の運行を行っています。年間145日運行しています。	丸子地域金子図書館
37	真田地域自治センター庁舎内などの市の活動に伴う温室効果ガスの排出量抑制の推進	電気使用量の削減	kW	456,529	443,860	403,327	削減	使用していない場所の電灯を消灯、昼休みの事務室の電気の消灯に心がけました。また冷暖房の使用時間の削減に取り組みました。前年度比9.1%減	真田地域振興課

連番	環境基本計画の施策の内容	状況(市民に対する効果)						平成21年度 総括	担当課
		施策の効果を測る指標	単位	状況					
				H19	H20	H21	H21目標		
38	印刷物、コピー用紙の削減により環境への配慮	印刷物、コピー用紙の使用削減	枚	-	159,900	55,000	159,000	地域包括支援センターが高齢者支援係から、社会福祉協議会に移されました。 また、健康推進係が上小地域内の代表としてもっていた上小保健補導員会等連絡協議会の事務局が他地域に移りました。 以上のことから大幅な減少となりました。 今後は使用済み用紙の裏面印刷を徹底したり印刷物の見直しをすることでさらに削減できるよう努めます。	真田健康福祉課
39	地域自治センターだより発行に際しては再生紙を利用します	使用の有無	再生紙利用	再生紙利用	再生紙利用	再生紙利用	再生紙利用	地域自治センターだよりは5月から隔月で6回発行しました。いずれも再生紙を使用しました。	武石地域振興課